

●2025 年2月 18 日(火)開催

老人福祉センターくつろぎ荘長寿命化改修工事に関する入浴施設利用者対象説明会で出された質問・ご意見等(出席者 23 名)

質問・意見等	回答
お風呂に入ることが楽しみで、それはニーズではないのか。	入浴施設利用者がお風呂をすごく楽しみにしており、憩いの場となっていることは施設職員からも聞いており、十分承知している。
入浴施設利用者が減ったと言われても困る。利用者が減ったことについて市はどのように考えているのか。	高齢者の方も仕事をしている方が多く、生活スタイルの変化があり利用者が減っている。
お風呂にどのくらい予算をかけているのか。	くつろぎ荘のお風呂は毎年修繕が必要となっていており、100万円近く修繕料がかかっている。他にも、ボイラーがあり、危険物取扱いができる職員を雇っているため人件費で200万円ほど、温泉の使用料で240万円ほどかかっている。
入浴施設が廃止されることは一番さみしいこと。廃止はやめてほしい。違う方法を考えてほしい。	将来的には代替案は必要と考えている。市の財政担当課や市内の温泉施設とも話をし、入浴施設の利用について検討していきたい。
永楽荘が老朽化しているのに、くつろぎ荘と比較して永楽荘を残すとなった決定的なものとは何か。年金生活者は(他の温泉施設の)700 円の利用料も大変。くつろぎ荘を残すということは、利用者にとって非常に重要なこと。	くつろぎ荘は吊天井が耐震構造になっていないため、災害時に危険な状態となり、今後も安心安全に利用いただくために大規模な改修工事が必要。課題である高齢者の多様な生きがい活動の場の確保については、要望をお聞きし、入浴施設のあった場所を新しい部屋へと転換することを決めた。 永楽荘の老朽化は承知している。永楽荘は建物・土地は社会福祉協議会が所有するもので、市から補助金を毎年2,000万円近く出しており、修繕費もかかっている。老人福祉センターはくつろぎ荘へ機能の強化を図り、将来的には一本化することも検討している。老人福祉センターのあり方は今後検討が必要と考えている。

事前にもっと早く市民等に意見を聞かなかったのか。1/17の説明会に入浴利用者の出席がない中、一方的な廃止の説明があったのはおかしい話。	市民の皆様への周知は、入浴施設をやめると決定した後、議会で説明したり、施設の利用者・利用団体向けに1月17日に説明会を行った。1月17日は、人数は少なかったが入浴施設利用者の方も出席されていたが、利用団体の方がほとんどであった。12月議会後の説明会となりお詫びする。
総体の工事費はいくらか。	約3億9,500万円 市の財政状況を踏まえ、施設管理について検討し、安心安全な施設へ改修する。
運転免許証を返納している人が多い。交通が不便で、くつろぎ荘まで来る足がない。高齢者の将来図を描いているのか。どういう風に高齢者の暮らしを考えているのか。	運転免許証返納後の移動について、市でも課題と捉えている。公共交通の担当課とも相談したり、新しいサービスを生み出していく必要があるとも考えている。旭ヶ丘地区は住民が付き添い支援で送迎をしたりしている。
各老人クラブへ1月17日の説明会の通知は出したのか。	シニアクラブ連合会には説明会の通知を出している。シニアクラブ連合会の会長も説明会に来られていた。事務局の方に通知を出し、会長さんと連絡を取ってもらった。直接、市から各町老人クラブへは通知は出していない。
市民の声も聞かず入浴施設の廃止を決定しているのか。	事前にご意見等をお聞きしなかったことは、大変申し訳なかったが、毎年施設の方でアンケートを取っている。今後できることを検討して、高齢者の居場所づくりや生きがいづくり等の事業について、今後皆さんのお声を聞きながら検討していきたい。 入浴施設がなくなることは決定である。永楽荘がある間は、永楽荘を利用いただき、切れ目なく皆さんが利用できるように代替案を検討していく。
入浴施設は古城荘と湯っ蔵んどを利用という考えでいいか。	代替施設も含めて、今日いただいた意見を参考に代替案を含めて検討したい。